




日時	平成 27 年 6 月 27 日 10:00～12:00
派遣先	千葉県立佐倉高等学校
メンバー	千葉大学生 1 名、留学生 1 名
活動内容 生徒数：5 名	<p>9:50 佐倉高等学校に到着。事務室から担当の村瀬先生が案内してくださった。この日は文化祭の二日目で、電気部にはすでに一般のお客さんが足を運んでいた。</p> <p>10:00～ 電気部との交流を開始。自作ロボットの操作、一円玉を飛ばす装置、偏光機の展示等、文系の留学生や子どもにもわかりやすく親しみやすい機械が用意されていた。佐倉高校の電気部の高校生は、科学を通した留学生との英語での交流が初めてということもあって、戸惑いが見られた。また、ネイティブの英語を聞いてきたため、最初は中国出身の留学生の英語を聞き取ることが大変なようだった。留学生は、「このボタンを押すとどうなるのか」「作成にどのくらいの期間がかかったのか」等の質問をしていた。英語によるポスターも準備しており、高校生は留学生に一生懸命伝えようとしていた。話そうとしてもなかなか言葉が出てこないとき、留学生は落ち着いた表情で待っていて、高校生もそれに安心感を覚えたようだった。</p> <p>11:20～ 校庭にてロケット発射。校庭でロケットを発射する様子を見学した。文系の留学生にとって、科学がわからなくてもおもしろいと感じることができたようだ。</p> <p>11:30～ 校内を見学。文化祭ということもあって、学校内は多くの人でにぎわっていた。電気部の生徒が、校内を案内してくれて、各ブースの説明をしてくれた。留学生にとっても初めての高校訪問、そして文化祭見学ということで印象的な体験となったようだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>
派遣先教員 コメント	レゴで作ったロボットの操作や、研究を電気部の生徒が英語でなんとか説明し、留学生に英語で質問してもらいとても有意義な時間となりました。また別の機会に留学生を派遣していただき、交流をしていきたいと考えております。
留学生 コメント	
学生リーダー コメント	一緒にいた留学生も、佐倉高校の電気部の生徒もこのような交流が初めてということもあり、新鮮な時間を過ごすことができた。お互いネイティブではないことや専攻が異なることは交流をする上で困難であったようだが、そこを乗り越えて相手に伝えようと努力する姿が印象的だった。今後も、より多くの高校生が留学生と交流し、英語で話したり異文化交流をしたりすることを身近に感じてもらうことができるといい。